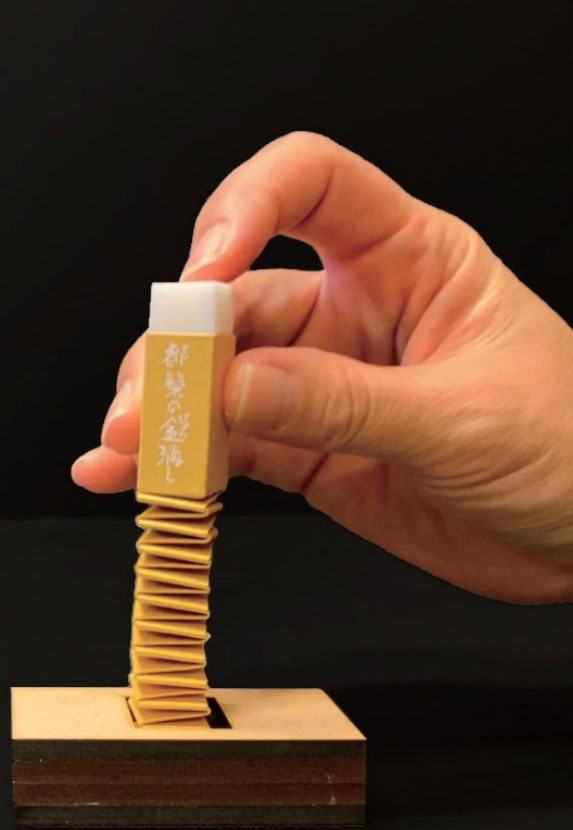


# 良くないコピーを書いた10人に送るノベルティ「都築の金消し」

宣伝会議コピー講座では「金の鉛筆」を良いコピーを書いた10人に配っていますが、名古屋教室では良くないコピーを書いた10人に配るノベルティがあります。2003年から年に一度、配布している「金の消しゴム」です。当初は普通の消しゴムでしたが、ショック過ぎて受取拒否や、涙目の人、2チャンネルで叩かれるなど、意図していない事態に。そこでデザインを貰って嬉しいものに変更。今では、貰いたくないけど欲しい消しゴムになりました。

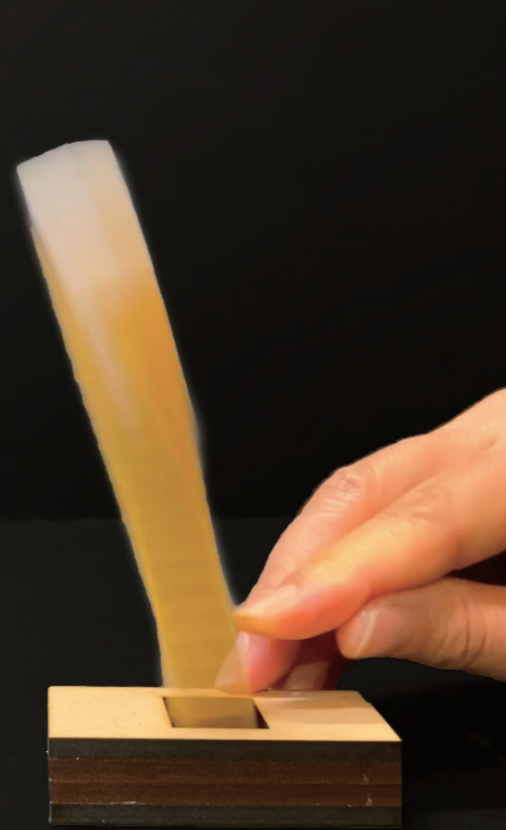
相手を知ることが出来る。



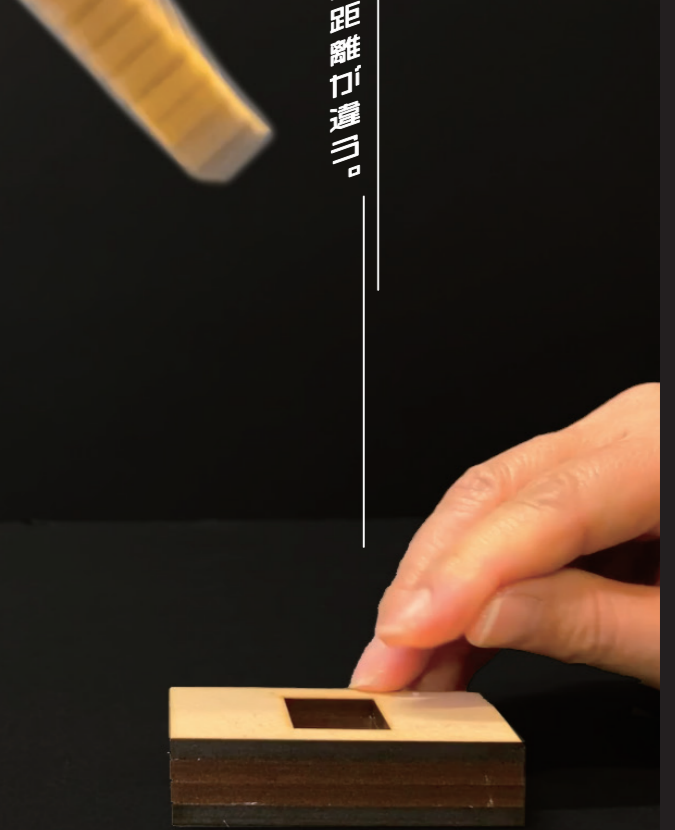
相手の名前を知ることが出来る。



手書きの文字は、限界は、ゼロになってしまった。



書き抜いた言葉は、飛距離が違う。

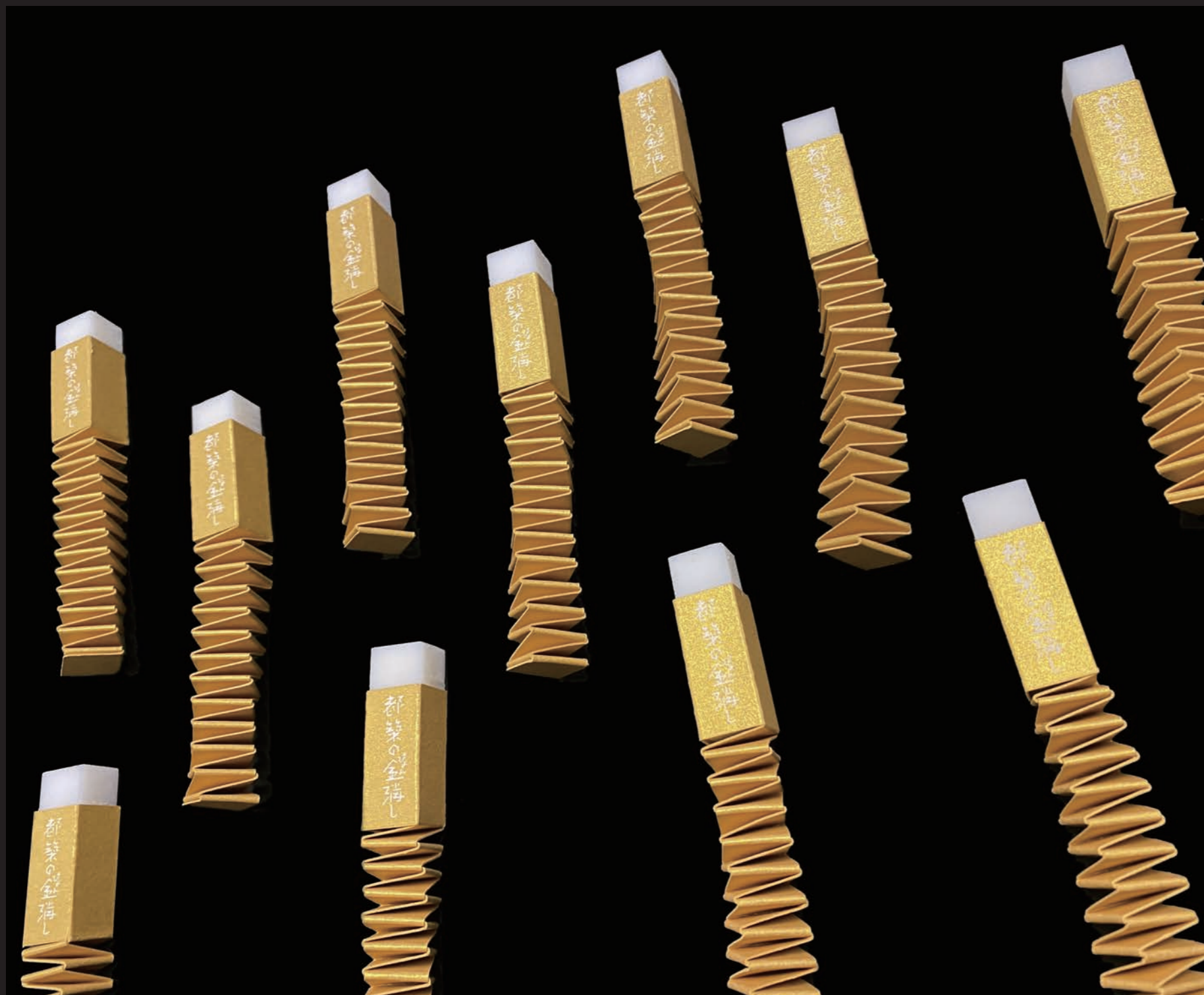


2020年。ついに金消しは飛びました。

難しいからこそ挑戦する価値がある。

そうやって消しゴムを飛ばすプロジェクトは始まった。

広告制作では、できないと思う気持ちが最大の敵。2020年の金消しは一番難しいことに挑戦しよう。それが「金消し空を飛ぶ」でした。  
バネの仕組み、発射台の検討など、たくさんの試行錯誤を経て消しゴムを飛ばすことに成功しました。結構飛びます。



紙製のバネでジャンプします

15cm ..... 考え抜いた言葉は、  
飛距離が違ふ。

13 ..... まだ書けぬ。もっと書けぬ。  
限界は、ヒヨカッて破られぬ。

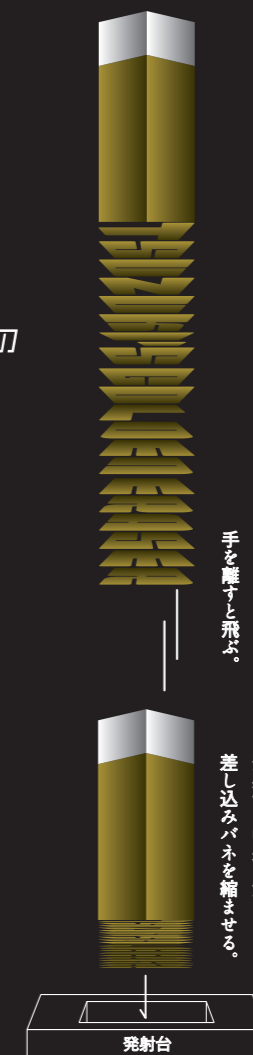
10cm ..... 11コピーは、  
遠くまで飛び。

7 ..... 「もう書けない」の  
向こうに、  
ジャンプがある。

5cm ..... ショートキックは理由が、  
あるから飛び。

2 ..... 相手を知らずに、  
ジャンプがある。

1cm



手を離すと飛び。

発射台の中央に消しゴムを  
差し込みバネを縮ませる。



発射台とセットです。

告知ポスター 宇宙になんて、行けるはずが無いと言われていましたが人類は月に飛んで行きました。金消しも月を目指す気持ちで制作しました。

